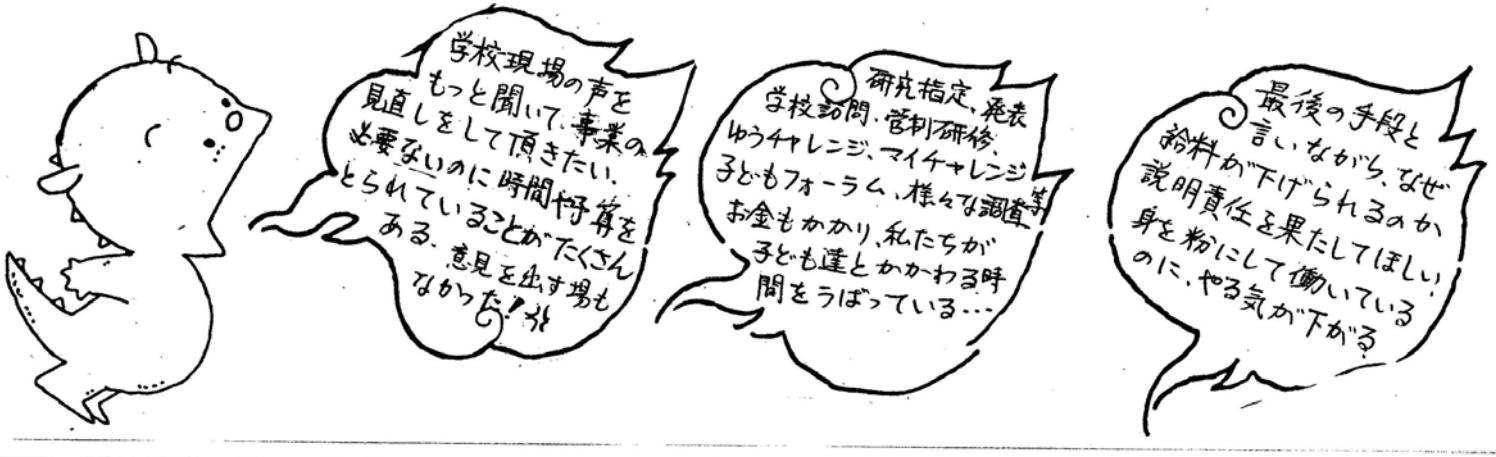
Assist KTU 年末確定交渉ニュース

第4回県公労・総務部長交渉…給与カットの根拠を追求。本当に聖域は無いのか？

冒頭、県公労から給与カットに対して基本的に反対の立場を示した。それに対して総務部長は、熊本県財政再建戦略の中間報告をもとに県公労に理解を求めた。交渉団からは、「職員の給与をカットしなければならなくなった責任は誰にあるのか。」「サマーレビューは失敗ではなかったのか。」などの発言が相次いだ。交渉団から，具体的に「〇〇の事業は見直したのか？」との質問が相次ぐと，「優先順位を考えて進めていきたい。」「具体的な資料は，出せるかどうか検討したい」等，答えに窮する場面があり，総務部長は「聖域を設けない事業の削減，見直しをした」としながらも，実は聖域があったのではないかという不信感が交渉団に広がった。



交渉団の声

詳しくは，熊本県教職員組合のホームページをご覧下さい。www ．e-ktu.com

12月1日発行